Panasonic

保管用

保証書付き

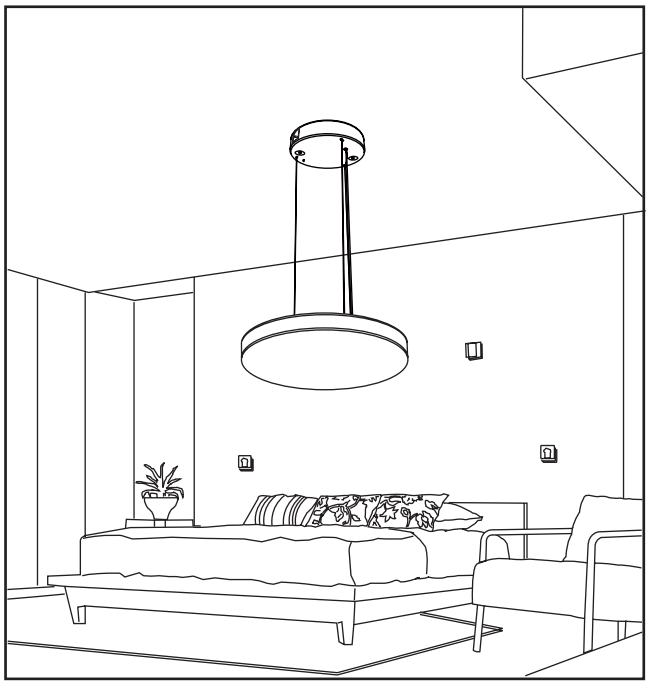
施工説明付き

取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

リフターツインPa

品番 HHFZ4388



もくじ

ご使用になる前に	安全上のご注意・・・・・・・・・・・・ 2〜3 使用上のご注意・・・・・・・・・・・・ 3 付属部品の確認・・・・・・・・・・・・ 3 各部のなまえとはたらき・・・・・・・ 4〜5 照明器具を取り付ける・・・・・・・・ 6〜7
使いかた	照明器具の取り外しかた・・・・・・・・7 灯具の高さを調整する・・・・・・・・・8 お好みの明るさで点灯させる・・・・・ 9 全灯ボタンを押したときの明るさを変更する・9 1 台のリモコンで複数の器具を操作する・9 送信のしかた・・・・・・・・・・・・・10 リモコンボックスについて・・・・・・ 10 電池交換について・・・・・・・・・・ 10 壁スイッチで操作する・・・・・・・・ 10
必要なとき	ランプを交換する・・・・・・・・・・ 11 故障かな？と思ったら・・・・・・・・・12 お手入れについて・・・・・・・・・・・13 松下電工お客様ご相談窓口のご案内・・13 安全チェックシート・・・・・・・・・・13 お客様へのお願い・・・・・・・・・・・14 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・14 保証とアフターサービス・・・・・・・14

上手に使って上手に節電

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3 ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

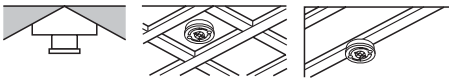
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

禁止

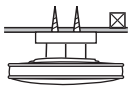
■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・凹凸のある場所 (例 : 下図)



船底天井　格子天井　竿縁天井

・補強のない薄い場所 (ベニヤ板、石こうボードなど)



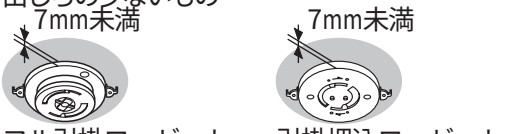
・傾斜した場所

●この器具は水平天井面取り付け専用です。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

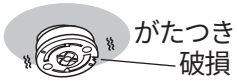
・出しろの少ないもの



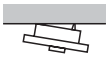
フル引掛ローゼット　引掛埋込ローゼット
引掛露出ローゼット

・シーリングハンガーが取り付けられたもの

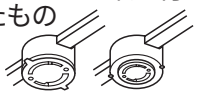
・がたついたり、破損しているもの



・斜めに取り付けられたもの



・ケースウェイに取り付けられたもの



●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。(交換には資格が必要です。)

必ず守る

■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

接触禁止

■絶対に、灯具を回したり、ゆらしたりしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

■電源コードを無理に引き出さない
電源コードの巻き取り異常や被覆の損傷等により、火災、感電、の原因となることがあります。

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

■昇降中、灯具をさわらない
落下の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■ワイヤーを引き出したり、たるませない
ワイヤー巻き取り異常により、落下の原因となることがあります。

■灯具の上に物をのせたり、下から引っ張らない
故障や落下の原因となることがあります。

使用上のご注意

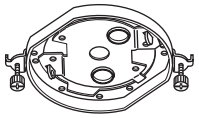
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生する事があります。
環境に配慮した蛍光灯では、このような現象が発生しやすくなっていますが、異常ではありません。
ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
●低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。
●昇降途中にピシィピシィ音が聞こえる場合がありますが、これはワイヤーが巻き取られる際に発生する音で異常ではありません。
●昇降中は灯具が物などに接触しないか、その場を離れないで確認してください。

付属部品の確認

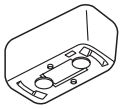
施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

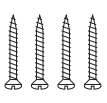
□ 取付金具(1個)
取付板止めネジ(2本)



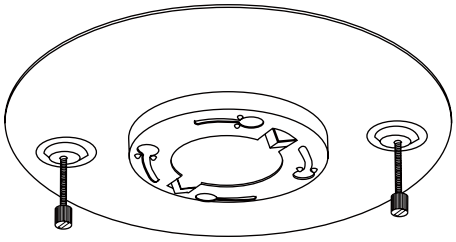
□ 配線器具
（角型引掛シーリング(1個)）



□ 木ネジ(4本)
（配線器具用 2本
取付金具用 2本）



□ 取付板(1個)
電動昇降部止めナット(2個)

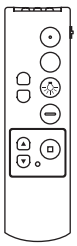


※出荷時は取付板(1個)および電動昇降部止めナット(2個)は、電動昇降部に取り付いています。

●使用しない付属部品は大切に保管してください。引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

●照明用リモコン付属部品

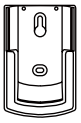
□ リモコン
HK9398(1個)



□ 単3形乾電池
(2本)

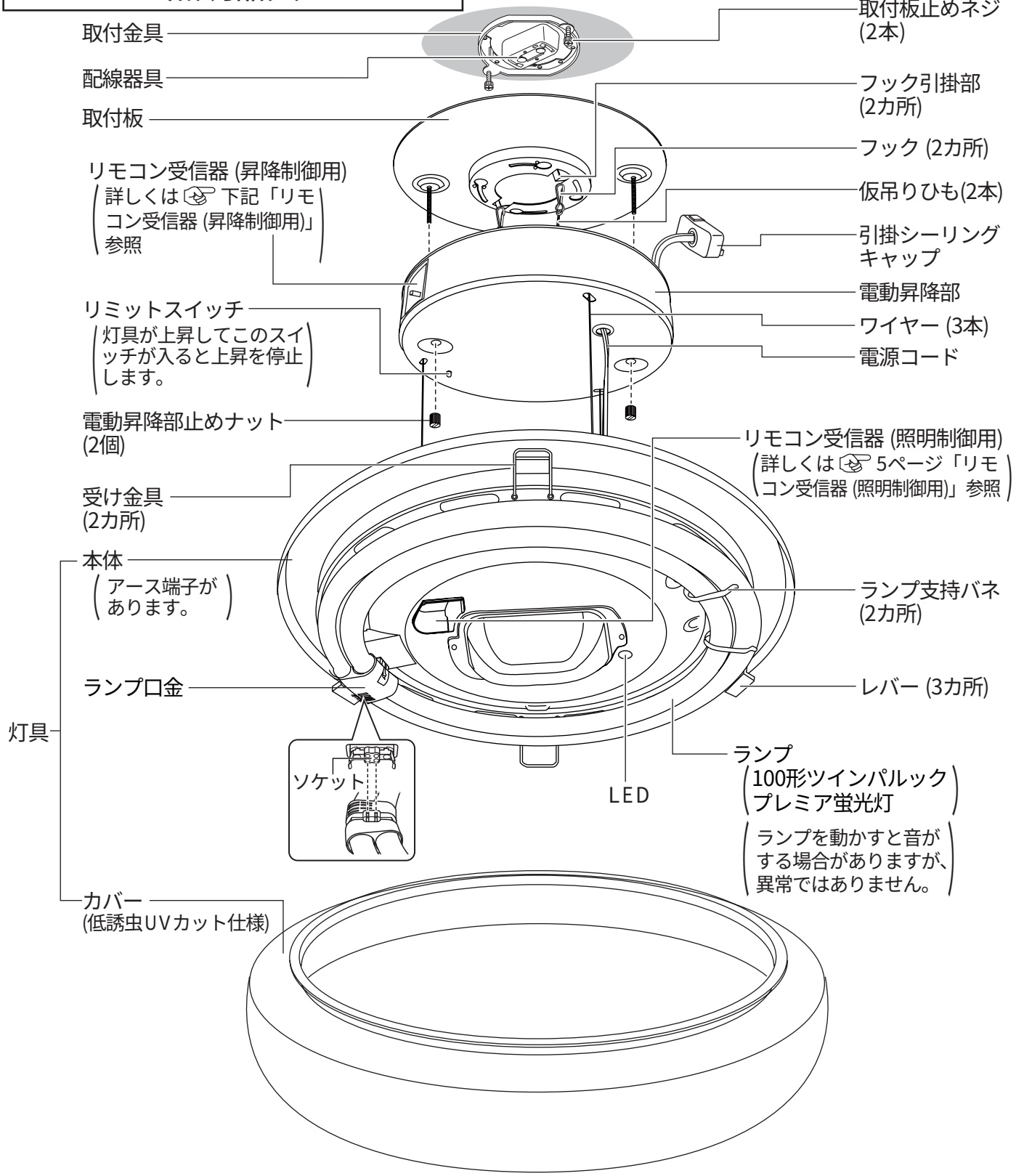
□ リモコン
ボックス用
木ネジ(2本)

□ リモコンボックス
(1個)

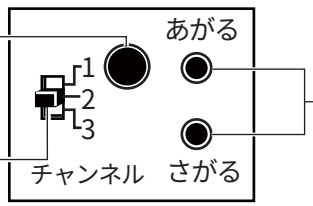


各部のなまえとはたらき

照明器具



リモコン受信器 (昇降制御用)



リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
(お買い上げ時：チャンネル2)
9ページ「リモコン受信器 (昇降制御用) のチャンネルを変更する」参照

昇降ボタン

「あがる」を押すと上昇
「さがる」を押すと下降
押し続けないと停止します。

リモコン受信器 (照明制御用)

リセットスイッチ

動作が異常の場合に押します。(注)
☞12ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

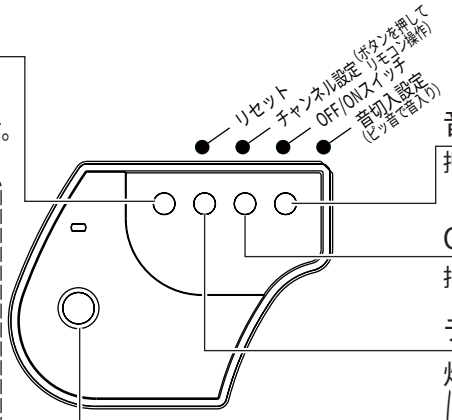
●チャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

リモコンで設定する

①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②灯具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
⇨「ピピーッ」と音がして設定完了

リモコンがない場合

OFF/ONスイッチを押す
⇨チャンネル2 に設定されます



音切入設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入します。
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

OFF/ON スイッチ

押すごとに消灯/全灯します。

チャンネル設定スイッチ

灯具のチャンネルを設定する場合に使用します。
☞9ページ「リモコン受信器 (照明制御用) のチャンネルを変更する」参照

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

リモコン

リモコン送信部

「明」「暗」ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯：100～約10%の明るさ
ＬＥＤ ：6段階の明るさ

メモ

●「お好みの明るさボタン」・「LEDボタン」を押した後、「明」「暗」ボタンで明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
☞9ページ「お好みの明るさで点灯させる」参照

あがるボタン

灯具が上昇します。
(注) 停止ボタンを押さないと最上位まで上昇します。

さがるボタン

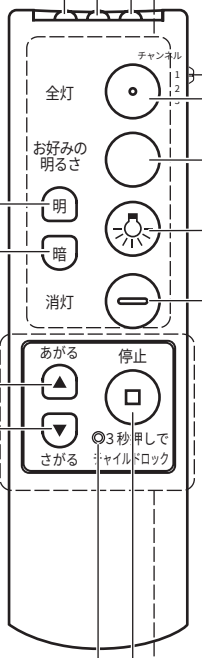
灯具が下降します。
(注) 停止ボタンを押さないと最下位まで下降します。

チャイルドロック表示LED

チャイルドロック状態の場合、チャイルドロックLEDが点滅します。
☞8ページ「チャイルドロック機能について」参照

停止ボタン

灯具の昇降動作を停止できます。
3 秒以上の長押しでチャイルドロックを切/入にできます。
☞8ページ「チャイルドロック機能について」参照



●照明制御用

チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル (チャンネル 1～3) に合わせて使います。
(お買い上げ時：チャンネル2)
☞9ページ「1台のリモコンで複数の器具を操作する」参照

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯します。
(注) 押したときの明るさを変えることもできます。
☞9ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

お好みの明るさボタン

「明」「暗」ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時：約60%の明るさ)

LEDボタン

「明」「暗」ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時：100%の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

消灯ボタン

消灯します

●昇降制御用

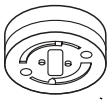
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

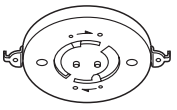
取り付けできる配線器具

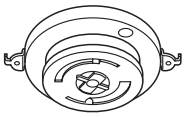
角型引掛シーリング
品番：WG1000

丸型フル引掛シーリング
品番：WG5005
WG5015


丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

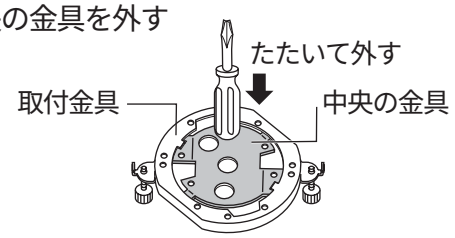
付属の取付金具の取り付けが必要です


引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130


フル引掛
ローゼット
品番：WG6005

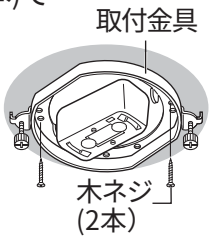
付属の取付板止めネジの付け替えが必要です

①取付金具の中央の金具を外す

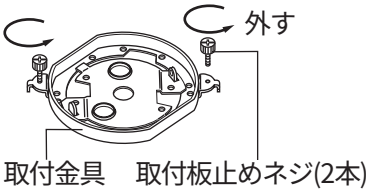


②補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で
取付金具を取り付ける

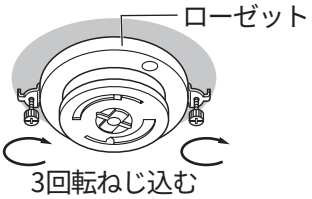
⚠警告	取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する 落下によるけがのおそれがあります。



①取付金具に付いている取付板止めネジを外す

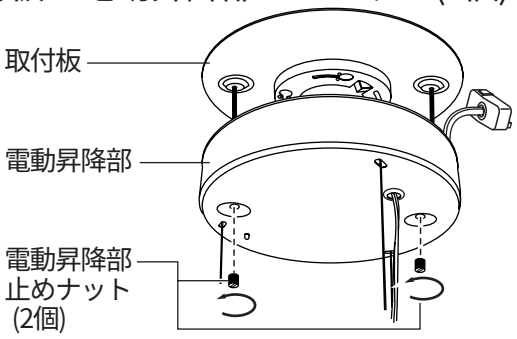


②ローゼットに取付板止めネジを仮止めする



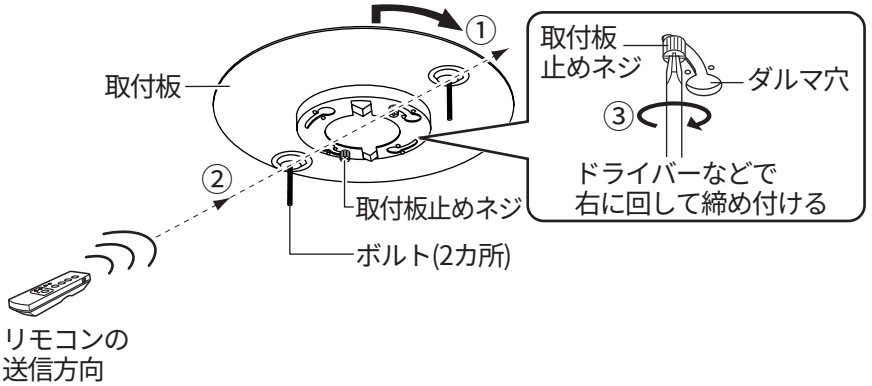
上記 5タイプ以外の配線器具 ➡ 同梱の配線器具に取り替える
（販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。
交換には資格が必要です。）

2 電動昇降部から取付板と電動昇降部止めナット(2個) を取り外す



3 取付板を取り付ける

①取付板止めネジと取付板のダルマ穴を
合わせて押し上げ、右に回す
②リモコンの送信方向に取付板のボルト
の方向を合わせ、
③ドライバーなどで取付板止めネジを
締め付ける

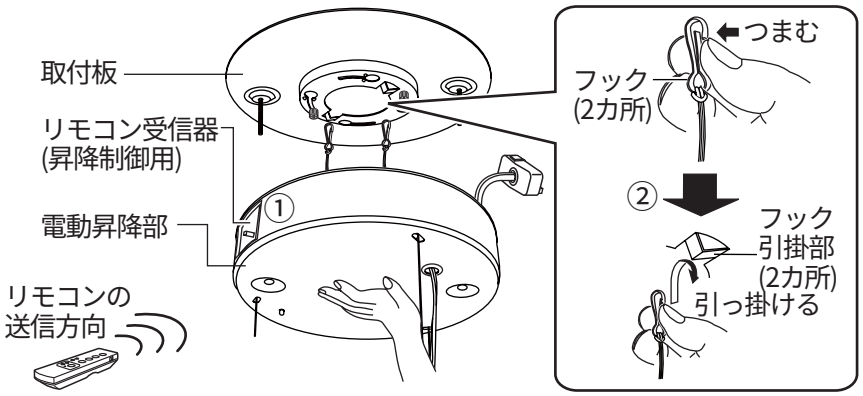


照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

4 照明器具を仮吊りする

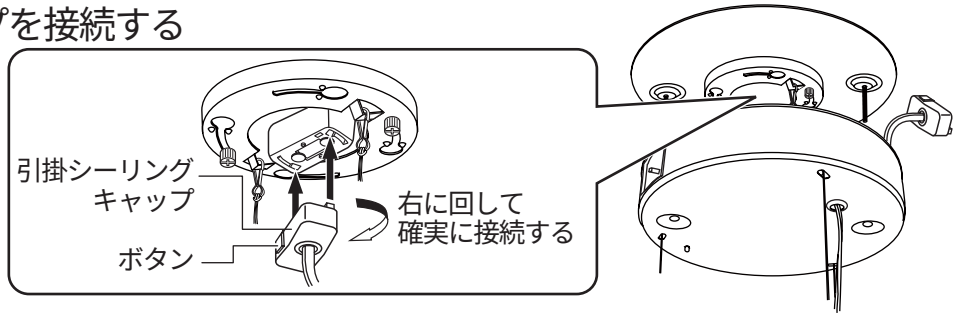
①電動昇降部のリモコン受信器 (昇降制御用) をリモコンの送信方向に合わせて
②電動昇降部のフック (2カ所) を取付板のフック引掛部 (2カ所) に引っ掛ける

⚠注意	電動昇降部をしっかり支えてください 落下してけがのおそれがあります。



5 引掛シーリングキャップを接続する

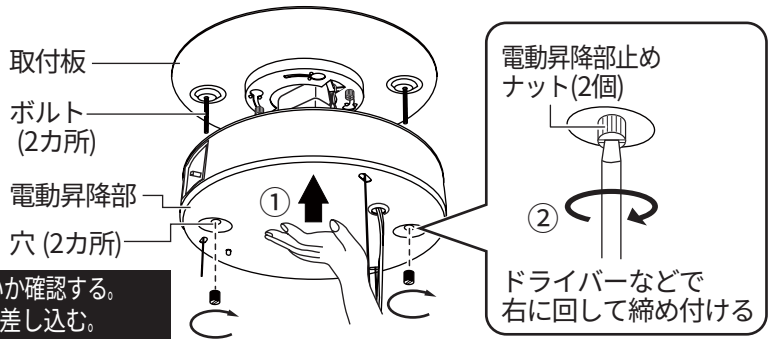
確認
●ボタンを押さずに左に回して、外れないことを確認する。



6 電動昇降部を取り付ける

①電動昇降部の穴 (2カ所) を取付板のボルト (2カ所) に合わせて押し上げる
②電動昇降部止めナット(2個)を締め付ける

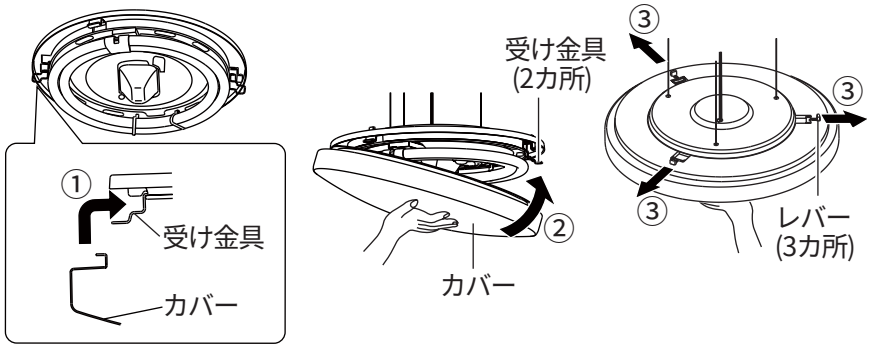
確認
●取り付け後、ランプ (蛍光灯) がソケットから浮いていないか確認する。
➡浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。



7 カバーを取り付ける

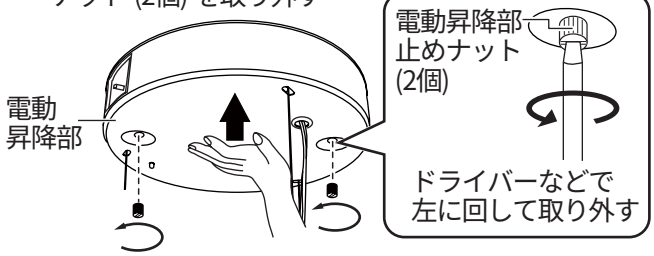
①カバーを受け金具に引っ掛ける
②カバーを斜めにして、もう片側の受け金具にカバーを引っ掛ける
③カバーを持ち上げてレバー(3カ所)を外側に押す

⚠注意	カバーは確実に取り付けてください 落下してけがのおそれがあります。



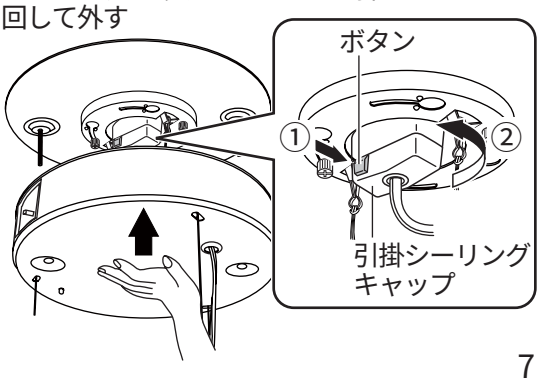
照明器具の取り外しかた　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 電動昇降部を支えながら電動昇降部止めナット (2個) を取り外す



2 引掛シーリングキャップを取り外す

①引掛シーリングキャップのボタンを押しながら
②左に回して外す



3 仮吊りひものフック (2カ所) を外す

☞上記「照明器具を取り付ける」の手順 4 を参考に逆の手順で外してください

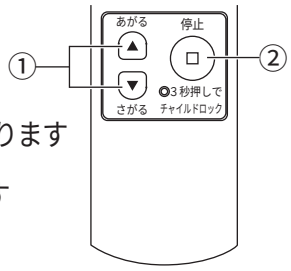
灯具の高さを調整する

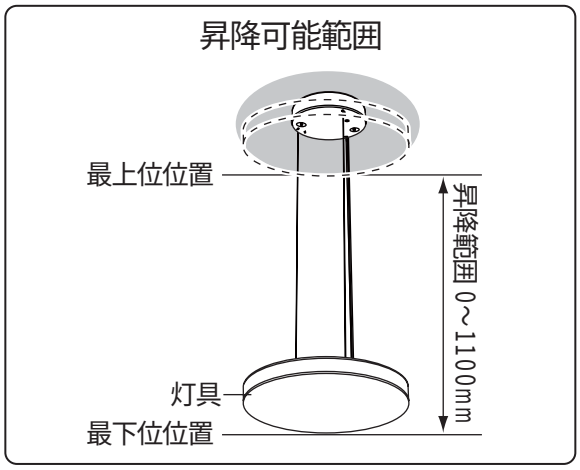
灯具をお好みの高さに調整して、その位置で停止できます。

リモコンで操作する場合

①リモコンの あがる ▲ / さがる ▼ で灯具の高さを変える
➡昇降動作中
(ピーッ、ピーッ、・・・) と音が鳴ります

②お好みの高さになったら 停止 □ を押す
➡(ピーッ) と音が鳴り停止します





メモ

●リモコンの あがる ▲ / さがる ▼ を押したあと 停止 □ を押さなかった場合は、リミットスイッチのはたらきにより、あがる ▲ を押したときは灯具が最上位位置で、ピーッと鳴って停止します。
また さがる ▼ を押したときは最下位位置で、ピーッと鳴って停止します。

●灯具が最上位位置または最下位位置で、それ以上に上昇・下降させようとすると警告音 (ピピッ) が鳴り、操作無効となります。

チャイルドロック機能について

チャイルドロック機能とは、容易にお子様の手の届く範囲にリモコンがあり、間違って操作した場合にリモコンの あがる ▲ / さがる ▼ ボタンを押しても、昇降動作が出来なくなる機能です。

チャイルドロックの設定と解除

	チャイルドロック表示 LED	停止 □ ボタン		チャイルドロック表示 LED	あがる ▲ / さがる ▼ ボタン
設定する場合	◎3秒押しで チャイルドロック (消灯状態)	3 秒長押し	※チャイルドロック表示 LEDが点灯したら停止ボタンを離してください。点滅を開始します。	☼3秒押しで チャイルドロック (点滅状態)	操作不可
解除する場合	☼3秒押しで チャイルドロック (点滅状態)	3 秒長押し (注)	※チャイルドロック表示 LEDが消灯したら停止ボタンを離してください。点滅を終了します。	◎3秒押しで チャイルドロック (消灯状態)	操作可能

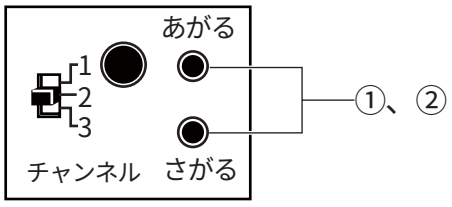
(注) 停止ボタンを押している間、チャイルドロック表示 LEDが 点灯しますが 3秒経つと消灯します。

●リモコンの電池が消耗した場合は、チャイルドロックが解除されます。(☞10ページ「電池交換について」参照)

リモコン受信器 (昇降制御用) で操作する場合

① あがる ◉ / ◉ さがる を押し続ける
➡昇降動作中
(ピーッ、ピーッ、・・・) と音が鳴ります

②お好みの高さになったら指を離す
➡停止します



リモコン受信器 (昇降制御用)

メモ

●リモコン受信器 (昇降制御用) の あがる ◉ / ◉ さがる を押して、次に離した位置が灯具の停止位置になります。

●灯具が最上位位置または最下位位置で、それ以上に上昇・下降させようとすると警告音 (ピピッ) が鳴り、操作無効となります。

ゆれ、たるみ検知機能について

昇降中に灯具が物などに接触してゆれが生じたり、ワイヤーにたるみができた場合、検知して警告音がピピッと鳴り、自動停止します。再度昇降させる場合は、ゆれをとめる、または、たるみの原因を取り除いてください。

お好みの明るさで点灯させる

蛍光灯

1 お好みの明るさ ◯ を押す

2 明 / 暗 で蛍光灯の明るさを変える

明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで お好みの明るさ ◯ を押すたびに、2で変えた明るさで点灯します。

ＬＥＤ

1 ☼ を押す

2 明 / 暗 でLEDの明るさを変える

明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで ☼ を押すたびに、2で変えた明るさで点灯します。

メモ ●リセットスイッチを押すと、蛍光灯、LEDともお買い上げ時の明るさに戻ります。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

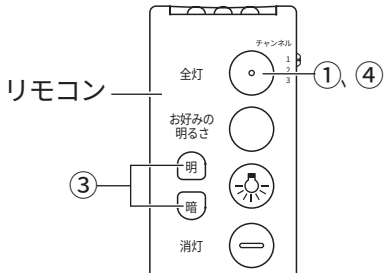
全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約10％の範囲で設定することができます。

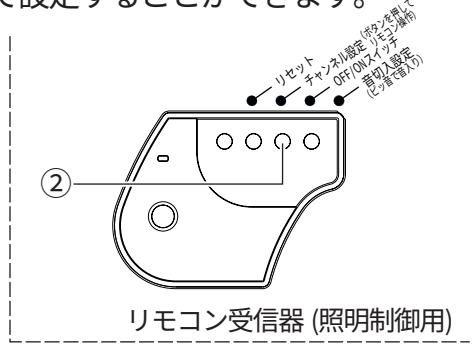
①リモコンの　全灯 ◦ を押す

②リモコン受信器 (照明制御用) の OFF/ONスイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける

③リモコンの 明 / 暗 で蛍光灯の明るさを変える

④リモコンの　全灯 ◦ を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了





1台のリモコンで複数の器具を操作する

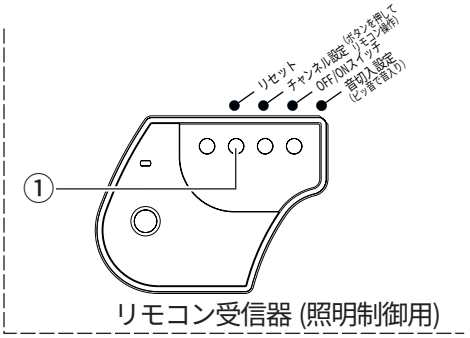
リモコン受信器 (照明制御用) のチャンネルを変更する

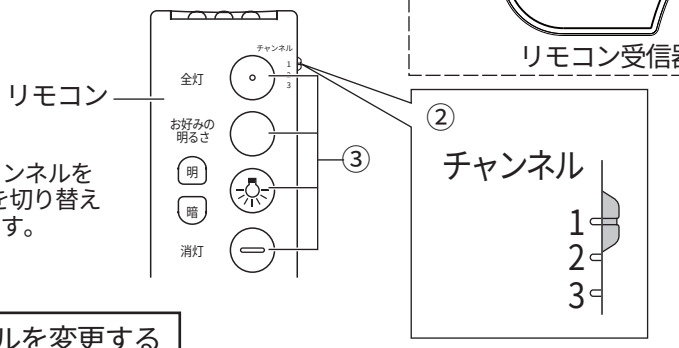
①リモコン受信器 (照明制御用) のチャンネル設定スイッチを押す

②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル1）

③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

メモ
●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。

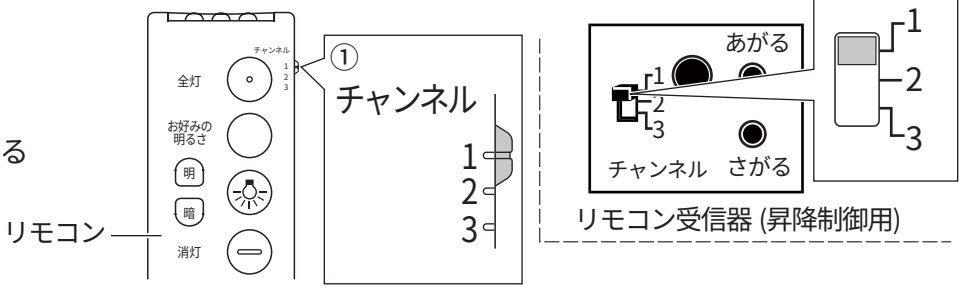




リモコン受信器 (昇降制御用) のチャンネルを変更する

①リモコンのチャンネルを確認する（例：チャンネル1）

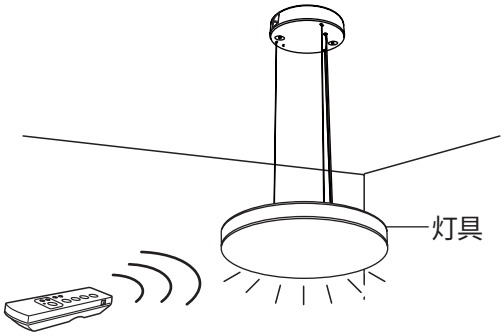
②リモコン受信器 (昇降制御用) のチャンネル設定スイッチを合わせる（例：チャンネル1）



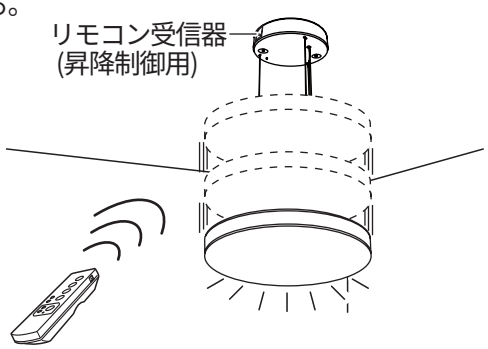
メモ
●1台のリモコンでご使用の場合、リモコンのチャンネルとリモコン受信器 (昇降制御用) およびリモコン受信器 (照明制御用) のチャンネルを必ず同一のチャンネルに合わせてください。
●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。

送信のしかた

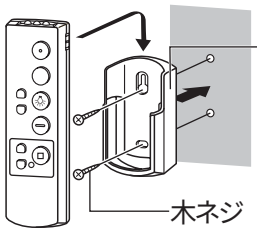
●点灯や消灯は、灯具に向けて操作する。



●上昇や下降は、リモコン受信器 (昇降制御用) に向けて操作する。



リモコンボックスについて

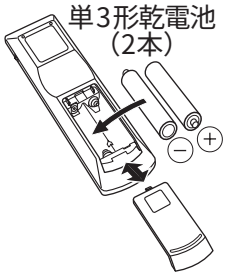


リモコンボックス

紛失防止用に壁掛け収納できます。

●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

電池交換について



電池交換時期の目安
・乾電池は半年を目安に交換してください。

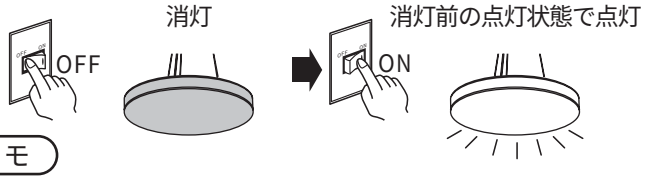
⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

(チャイルドロック設定時のご注意)
●リモコンの電池が消耗した場合は、チャイルドロックが解除されます。
電池交換時には、必ずチャイルドロックを再設定してください。

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、
「LED」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LED」で点灯します。



メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、 壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

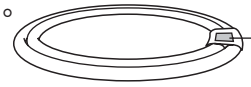
メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（1W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。
●昇降動作中に壁スイッチで点灯状態を切り替えると昇降動作が停止します。

ランプを交換する

⚠ 注意 電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

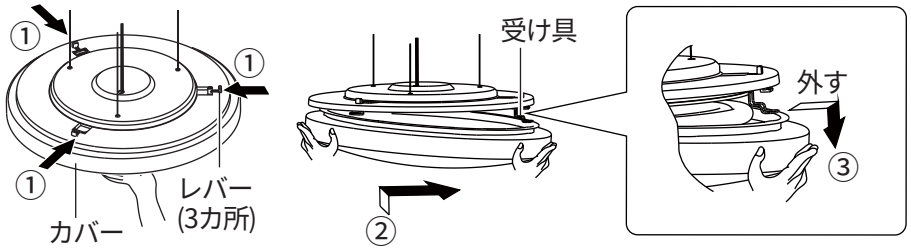
●ランプの明るさが低下したり、点滅を繰り返したりするようになると寿命です。
パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



1 ランプを交換するのに最適な位置になるように灯具を昇降する

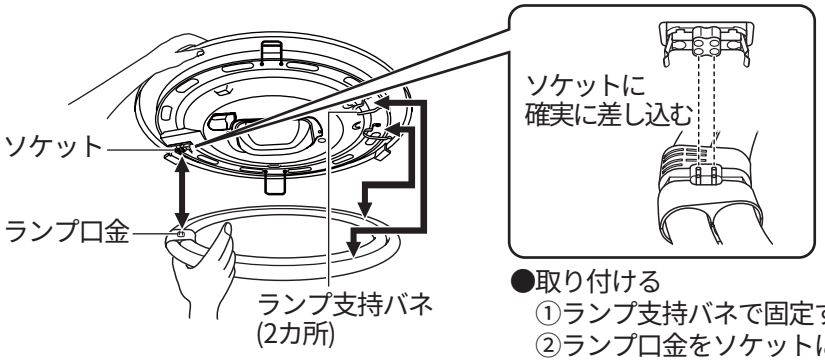
2 カバーを取り外す

①カバーを手でささえながら
レバー (3カ所) を内側に押す
②カバーを10mmほど持ち上
げて片側によせる
③カバーを受け金具から外す



3 ランプを交換する

●取り外す
①ランプ口金側を引き
下げて外す
②ランプ支持バネ側を
外す



●取り付ける
①ランプ支持バネで固定する
②ランプ口金をソケットに差し込む

4 カバーを取り付ける

☞ 7ページ
「照明器具を取り付ける」手順 7 参照

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む（☞11ページ「ランプを交換する」手順 3 参照）
	ランプが切れている	ランプを交換する（☞11 ページ「ランプを交換する」参照）
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする (☞10 ページ「壁スイッチで操作する」参照)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する（☞10 ページ「電池交換について」参照）
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる（☞10 ページ「電池交換について」参照）
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する（☞9 ページ「1台のリモコンで複数の器具を操作する 」参照）
	リモコン受信器 (昇降制御用) が送信方向側に向いていない	リモコンの送信方向にリモコン受信器 (昇降制御用) を向ける（☞6〜7 ページ「照明器具を取り付ける」手順 3 〜 4 参照）
灯具が昇降しない	チャイルドロック表示LEDが点滅状態になっている	チャイルドロック機能を解除にする（☞8 ページ「チャイルドロック機能について」参照）
	ゆれ、たるみ検知機能がはたらいている	リモコンまたはリモコン受信器 (昇降制御用)で再操作する（☞8 ページ「ゆれ、たるみ検知機能について」参照）
	昇降動作を連続でご使用の場合 (5分以上)、モータの過熱保護が働き、昇降動作をしなくなる場合がありますが、故障ではありません (周囲温度により過熱保護が働く時間に差があります)	約10分待ってから昇降動作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

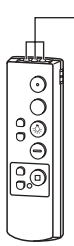
① 電源をいったん切り、再度入れる
② 灯具のリモコン受信器のリセットスイッチを押す（☞5ページ リモコン受信器 (照明制御用) 参照）
③ 器具のチャンネルを変更する（☞9ページ リモコン受信器 (照明制御用) のチャンネルを変更するおよび リモコン受信器 (昇降制御用) のチャンネルを変更する 参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

お手入れについて

⚠ 注意 電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



リモコン

●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。
・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通番号） ハイ 365日 **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS ・IP /光電話等は下記の電話番号へおかけください。
大阪 ☎ 06-6906-1090　名古屋 ☎ 052-551-7900㊟
札幌 ☎ 011-261-6401㊟ 福　岡 ☎ 092-622-0531㊟
東京 ☎ 03-5392-7190㊟

使いかた・お買い物などのご相談は

パナソニック　お客様ご相談センター

365日/受付9時～20時
電話 フリーダイヤル パナは 365日 **0120-878-365**
携帯電話・PHS・IP /光電話でのご利用は・06-6907-1187
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

㊟印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料金は弊社負担です。
ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

●〈照明器具〉安全チェックシート●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

	安全点検項目	点検結果(該当には○) / / / / /	処置手順
このような症状はありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。		○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。		
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。		
	4. こげくさい臭いがする。		
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。		
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。		
	1. 購入後、10年以上経過している。		○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。		
	3. カバーなどに変色・変形がある。		
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。		
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。		

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。なお、持込修理の対象商品を直接お客様ご相談窓口に送付した場合の送料等はお客様負担となります。また、出張修理等を行なった場合には、出張料はお客様の負担となります。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご提示がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

●昇降装置の性能を維持する為、定期的（1カ月に1回程度）に昇降して、下記項目を点検してください。
異常を感じた場合、速やかに電源を切り、工事店、電器店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

点検順序	点検項目	確認内容
1	下降動作の確認	・下降動作は正常か ・下降中にリモコンで停止できるか ・灯具が最下位位置で停止したか
2	ワイヤーの確認	・ワイヤーは切れていないか ・形くずれをしていないか ・さびていないか
3	上昇動作の確認	・上昇動作は正常か ・灯具が最上位位置で停止したか

●年に1 度、コードの劣化ひび割れがないか確認してください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	90W（リモコンOFF時、 1.0W以下 本体のみ昇降時､12.5W）	100形ツインパルックプレミア蛍光灯

（キリトリ線）

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■ 保証書（左記をご覧ください）

保証書は、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。(ランプ等の消耗品は除きます。)

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■ 修理を依頼されるとき

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くのパナソニック電工修理ご相談窓口 (裏面一覧表ご参照) にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品の保有期間

この照明器具の補修用性能部品 (電気部品) を製造打切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048

HHFZ4388-T3A1　　N0908-011008